



## 2024年2月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)

2024年4月15日

上場会社名 株式会社アーコア 上場取引所 名  
コード番号 3384 URL https://arkcore.co.jp  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 正渡 康弘  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 土屋 勉 (TEL) 03(5928)1537  
定時株主総会開催予定日 2024年5月29日 配当支払開始予定日 —  
有価証券報告書提出予定日 2024年5月30日  
決算補足説明資料作成の有無 : 無  
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年2月期の業績(2023年3月1日~2024年2月29日)

## (1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年2月期	5,411	2.2	259	△15.0	245	△19.8	164	△59.7
2023年2月期	5,297	37.8	304	153.9	306	63.2	408	—

  

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年2月期	92.46	87.23	20.9	10.2	4.8
2023年2月期	229.81	218.33	81.7	16.4	5.8

(参考) 持分法投資損益 2024年2月期 一百万円 2023年2月期 一百万円

(注) 2023年2月期の当期純利益の対前期増減率は、2022年2月期が当期純損失であったため、記載しておりません。

## (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年2月期	2,645	871	32.9	489.37
2023年2月期	2,175	704	32.4	396.79

(参考) 自己資本 2024年2月期 870百万円 2023年2月期 703百万円

## (3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年2月期	290	7	286	1,682
2023年2月期	201	33	119	1,097

## 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2024年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2025年2月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—

## 3. 2025年2月期の業績予想(2024年3月1日~2025年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純 利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,203	△3.8	159	△38.4	144	△41.3	100	△39.2	56.17

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は添付資料9ページ「3. 財務諸表及び主な注記(5) 財務諸表に関する注記(会計方針の変更)」をご覧ください。

(2) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)  
② 期末自己株式数  
③ 期中平均株式数

2024年2月期	1,970,000株	2023年2月期	1,970,000株
2024年2月期	189,667株	2023年2月期	193,667株
2024年2月期	1,778,169株	2023年2月期	1,776,333株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束するものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	3
3. 財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 貸借対照表 .....	4
(2) 損益計算書 .....	6
(3) 株主資本等変動計算書 .....	7
(4) キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(5) 財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(会計方針の変更) .....	9
(セグメント情報等) .....	9
(持分法損益等) .....	12
(1株当たり情報) .....	12
(重要な後発事象) .....	12

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当事業年度における我が国経済は、2023年10—12月期の四半期別実質GDP成長率は前四半期のマイナスからプラスに転じました。企業収益は、総じてみれば改善しており、雇用情勢も改善の動きが見られています。個人消費は持ち直しており、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、ゆるやかな回復が続くことが期待されます。ただし、世界的な金融引締めに伴う影響や中国経済の先行き懸念など、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっています。

当社の事業セグメントは、バイク事業及びフィットネス事業となっております。当事業年度におけるセグメント別の業績は次のとおりであります。

#### (バイク事業)

コロナ禍に端を発した国内のバイクブームはコロナ禍の収束に伴いやや落ち着きを見せてきております。それにより、バイクメーカーによる生産の状況についても、これまで人気車種についてはユーザーが待ちきれないような長い納期であったものが徐々に解消しつつあります。

その一方、業者間オークションにおいては円安に支えられた輸出業者の積極的な入札により、大排気量車を中心に落札価格は好調に推移しております。

その結果、当社における買取台数は前期よりも減少したものの、売上単価がほぼ横ばいであったこと、業者間オークションの開催回数等の要因で販売台数が前期よりも増加したこと等により売上高は前期を少し超過いたしました。

ただし、集客競争が年々激しくなっていることや組織力強化のための人材育成に力を注いでいること等を理由として、広告費、人件費及び研修費用等が増加しセグメント利益は減少しております。

バイク事業の当事業年度の業績は、売上高4,970百万円（前期比6.4%増）、セグメント利益186百万円（前期比43.5%減）となりました。

#### (フィットネス事業)

当事業におけるエンタimeフィットネスは前事業年度では10ヶ月間5店舗を運営しておりましたが、前事業年度末時点では4店舗となり、当事業年度末時点でも4店舗となっております。ステップゴルフは2店舗で増減はありません。

当事業年度でのエンタimeフィットネスの月平均会員数は前期比1.7%減少し、ステップゴルフの会員数は同11.2%減少したため、売上高は減少しましたが、一店舗減による地代家賃等の費用の減少によりセグメント利益は増加しました。

フィットネス事業の当事業年度の業績は、売上高441百万円（前期比3.2%減）、セグメント利益72百万円（前期比4.8%増）となりました。

以上の結果、当事業年度の経営成績は売上高5,411百万円（前期比2.2%増）、営業利益259百万円（前期比15.0%減）、経常利益245百万円（前期比19.8%減）、当期純利益164百万円（前期比59.7%減）となりました。

## (2) 当期の財政状態の概況

### (資産)

当事業年度末において総資産は2,645百万円となり、前事業年度末と比較して470百万円増加しました。主な要因としては、現金及び預金が586百万円増加し、棚卸資産が65百万円減少したことによるものであります。

### (負債)

当事業年度末において負債は1,774百万円となり、前事業年度末と比較して304百万円増加しました。主な要因としては、1年内返済予定の長期借入金を含む長期借入金が398百万円増加し、1年内償還予定の社債を含む社債が102百万円減少したことによるものであります。

### (純資産)

当事業年度末において純資産は871百万円となり、前事業年度末と比較して166百万円増加しました。主な要因としては、当期純利益164百万円を計上したことによるものであります。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末の現金及び現金同等物は1,682百万円(前期は1,097百万円)となっております。当事業年度における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、得られた資金は290百万円(前期は得られた資金201百万円)となりました。主な要因は、得られた資金としては税引前当期純利益245百万円及び棚卸資産の減少額65百万円によるものであります。

### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、得られた資金は7百万円(前期は得られた資金33百万円)となりました。主な要因は、得られた資金としては差入保証金の回収による収入24百万円、支出した資金としては有形固定資産の取得による支出12百万円によるものであります。

### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、得られた資金は286百万円(前期は得られた資金119百万円)となりました。主な要因は、得られた資金としては長期借入れによる収入600百万円、社債の発行による収入98百万円、支出した資金としては長期借入金の返済による支出201百万円、社債の償還による支出202百万円によるものであります。

## (4) 今後の見通し

バイク事業は、今後の新車の供給状況及び海外情勢の変化によって、過熱気味であった業者間オークションにおける落札単価が下降傾向にありますが、今後も同様の状況が続くことを想定し、売上高及び営業利益の減少を想定しております。

フィットネス事業は、エニタイムフィットネス、ステップゴルフともに新規出店等を見込んでおらず、会員数は横ばいで推移することを想定し、売上高及び営業利益ともにほぼ前事業年度と同程度となることを想定しております。

以上より、2025年2月期は、売上高5,203百万円(前期比3.8%減)、営業利益159百万円(前期比38.4%減)、経常利益144百万円(前期比41.3%減)、当期純利益100百万円(前期比39.2%減)と予想しております。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は日本国内でのみ事業を展開しており、また、当社株主のうち国外の株主数も極めて少ないことから、当面の間、日本基準に基づいて財務諸表を作成する方針であります。

## 3. 財務諸表及び主な注記

## (1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年2月28日)	当事業年度 (2024年2月29日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,107,436	1,693,752
売掛金	46,210	45,146
商品	729,538	664,412
貯蔵品	2,909	2,718
前払費用	27,578	22,678
未収入金	14,071	15,303
その他	2,224	1,068
流動資産合計	1,929,969	2,445,080
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備	292,784	292,940
減価償却累計額	△194,156	△208,976
建物附属設備(純額)	98,627	83,964
構築物	13,384	13,384
減価償却累計額	△11,305	△11,731
構築物(純額)	2,079	1,652
車両運搬具	24,202	35,239
減価償却累計額	△14,214	△24,769
車両運搬具(純額)	9,987	10,469
工具、器具及び備品	120,406	121,121
減価償却累計額	△113,423	△117,142
工具、器具及び備品(純額)	6,982	3,979
リース資産	27,318	27,318
減価償却累計額	△15,554	△21,448
リース資産(純額)	11,763	5,869
有形固定資産合計	129,441	105,935
無形固定資産		
ソフトウェア	5,995	3,592
ソフトウェア仮勘定	—	4,000
電話加入権	37	37
無形固定資産合計	6,033	7,629
投資その他の資産		
出資金	192	402
長期貸付金	—	1,000
差入保証金	82,631	57,634
長期前払費用	3,622	3,693
繰延税金資産	23,245	24,603
投資その他の資産合計	109,690	87,332
固定資産合計	245,165	200,898
資産合計	2,175,135	2,645,979

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年2月28日)	当事業年度 (2024年2月29日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	24,157	20,116
1年内償還予定の社債	202,000	202,000
1年内返済予定の長期借入金	126,046	231,371
リース債務	6,729	5,966
未払金	59,991	78,269
未払費用	31,720	33,049
未払法人税等	83,501	41,669
未払消費税等	27,447	48,417
前受金	30,924	43,780
預り金	3,185	4,110
賞与引当金	27,310	34,463
その他	251	224
流動負債合計	623,265	743,440
固定負債		
社債	442,000	340,000
長期借入金	396,065	689,543
長期末払金	1,249	—
リース債務	7,724	1,757
固定負債合計	847,038	1,031,300
負債合計	1,470,303	1,774,740
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	232,825	232,825
資本剰余金		
その他資本剰余金	266,598	267,069
資本剰余金合計	266,598	267,069
利益剰余金		
利益準備金	3,217	3,217
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	275,049	439,460
利益剰余金合計	278,266	442,677
自己株式	△73,858	△72,333
株主資本合計	703,831	870,238
新株予約権	1,000	1,000
純資産合計	704,831	871,238
負債純資産合計	2,175,135	2,645,979

## (2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2022年3月1日 至 2023年2月28日)	当事業年度 (自 2023年3月1日 至 2024年2月29日)
売上高	5,297,916	5,411,998
売上原価		
商品期首棚卸高	357,764	729,538
当期商品仕入高	3,516,289	3,293,098
合計	3,874,053	4,022,636
商品期末棚卸高	729,538	664,412
売上原価合計	3,144,515	3,358,223
売上総利益	2,153,400	2,053,774
販売費及び一般管理費		
販売手数料	117,352	134,022
販売促進費	6,385	5,204
運賃	51,667	69,221
広告宣伝費	291,420	379,095
役員報酬	91,119	87,966
給料及び手当	452,783	405,084
賞与	25,495	34,488
賞与引当金繰入額	27,310	34,463
法定福利費	75,344	80,617
旅費及び交通費	101,859	103,551
減価償却費	44,657	38,069
地代家賃	185,522	141,995
その他	377,766	280,991
販売費及び一般管理費合計	1,848,686	1,794,772
営業利益	304,713	259,002
営業外収益		
受取利息	39	48
受取手数料	5,124	5,076
助成金収入	18,576	—
雑収入	1,672	349
営業外収益合計	25,412	5,474
営業外費用		
支払利息	9,359	11,250
社債利息	3,342	5,567
社債発行費	9,226	1,909
雑損失	2,077	241
営業外費用合計	24,006	18,969
経常利益	306,119	245,507
特別利益		
受取補償金	206,500	—
固定資産売却益	13,137	—
特別利益合計	219,637	—
特別損失		
減損損失	21,976	—
解約違約金	7,987	—
固定資産除却損	0	—
特別損失合計	29,963	—
税引前当期純利益	495,792	245,507
法人税、住民税及び事業税	93,901	82,454
法人税等調整額	△6,329	△1,357
法人税等合計	87,572	81,096
当期純利益	408,219	164,411



## (3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2022年3月1日 至 2023年2月28日)

(単位:千円)

	株主資本								新株予約権	純資産合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金			自己株式	株主資本合計		
		その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計				
当期首残高	232,825	266,598	266,598	3,217	△133,170	△129,953	△73,858	295,611	1,000	296,611
当期変動額										
当期純利益					408,219	408,219		408,219		408,219
自己株式の処分			—				—	—		—
当期変動額合計	—	—	—	—	408,219	408,219	—	408,219	—	408,219
当期末残高	232,825	266,598	266,598	3,217	275,049	278,266	△73,858	703,831	1,000	704,831

当事業年度(自 2023年3月1日 至 2024年2月29日)

(単位:千円)

	株主資本								新株予約権	純資産合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金			自己株式	株主資本合計		
		その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計				
当期首残高	232,825	266,598	266,598	3,217	275,049	278,266	△73,858	703,831	1,000	704,831
当期変動額										
当期純利益					164,411	164,411		164,411		164,411
自己株式の処分		470	470				1,525	1,996		1,996
当期変動額合計	—	470	470	—	164,411	164,411	1,525	166,407	—	166,407
当期末残高	232,825	267,069	267,069	3,217	439,460	442,677	△72,333	870,238	1,000	871,238

## (4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2022年3月1日 至 2023年2月28日)	当事業年度 (自 2023年3月1日 至 2024年2月29日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前当期純利益	495,792	245,507
減価償却費	44,657	38,069
減損損失	21,976	—
株式報酬費用	14,853	7,328
賞与引当金の増減額(△は減少)	13,118	7,153
受取利息及び受取配当金	△39	△265
助成金収入	△18,576	—
支払利息	9,359	11,250
社債利息	3,342	5,567
社債発行費	9,226	1,909
有形固定資産売却損益(△は益)	△13,137	—
有形固定資産除却損	0	—
受取補償金	△206,500	—
解約違約金	7,987	—
売上債権の増減額(△は増加)	2,474	1,064
棚卸資産の増減額(△は増加)	△372,033	65,315
仕入債務の増減額(△は減少)	△6,080	△4,041
その他の流動資産の増減額(△は増加)	5,251	4,890
その他の流動負債の増減額(△は減少)	19,830	50,800
その他	△2,080	△5,243
小計	29,424	429,308
利息及び配当金の受取額	39	228
利息の支払額	△12,849	△17,151
法人税等の支払額	△50,652	△121,707
補償金の受取額	206,500	—
助成金の受取額	37,197	—
解約違約金の支払額	△7,987	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	201,671	290,677
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△1,800	△1,800
貸付けによる支出	—	△1,000
貸付金の回収による収入	130	1,132
有形固定資産の取得による支出	△17,269	△12,271
有形固定資産の売却による収入	13,186	—
無形固定資産の取得による支出	△212	—
差入保証金の差入による支出	△6	△2,574
差入保証金の回収による収入	39,886	24,114
出資金の払込による支出	—	△209
出資金の回収による収入	30	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	33,943	7,391
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	230,000	600,000
長期借入金の返済による支出	△244,458	△201,197
社債の発行による収入	290,773	98,090
社債の償還による支出	△146,000	△202,000
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△6,209	△6,729
割賦債務の返済による支出	△4,288	△1,718
財務活動によるキャッシュ・フロー	119,816	286,445
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	355,432	584,515
現金及び現金同等物の期首残高	742,403	1,097,835
現金及び現金同等物の期末残高	1,097,835	1,682,350

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当事業年度の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27―2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、これによる財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

(1) 報告セグメントの決定方法

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は事業別のセグメントから構成されており、「バイク事業」及び「フィットネス事業」を報告セグメントとしています。

(2) 各報告セグメントに属する製品及びサービスの種類

バイク事業は、中古バイクの買取・販売等を行っております。

フィットネス事業は、株式会社Fast Fitness Japanをフランチャイザーとする「エニタイム・フィットネス」フランチャイズ契約を締結し、エニタイムフィットネスFC店の出店、運営を行っております。また、当該事業に含めておりますゴルフスクール事業は、ステップゴルフ株式会社をフランチャイザーとする「ステップゴルフ」及び「ステップゴルフプラス」フランチャイズ契約を締結し、ステップゴルフ及びステップゴルフプラスFC店の出店、運営を行っております。

(3) 報告セグメントの変更等に関する事項

前事業年度において飲食事業を廃止したことに伴い、当事業年度より「飲食事業」セグメントを廃止しております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、財務諸表作成のために採用している会計処理の方法と同一であります。報告セグメントの利益又は損失は、営業利益ベースの数値であります。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報  
前事業年度(自 2022年3月1日 至 2023年2月28日)

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1、2	合計
	バイク事業	フィットネス 事業	飲食事業		
売上高	4,670,945	455,633	171,337	—	5,297,916
セグメント利益 又は損失(△)	330,157	69,192	△94,636	—	304,713
セグメント資産	885,872	159,502	2,800	1,126,960	2,175,135
セグメント負債	176,326	15,668	—	1,278,308	1,470,303
その他の項目					
減価償却費	28,975	15,682	—	—	44,657
減損損失	—	21,976	—	—	21,976
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	25,188	551	—	—	25,739

- (注) 1 セグメント資産の調整額1,126,960千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であり、主に報告セグメントに帰属しない現金及び預金1,103,714千円であります。
- 2 セグメント負債の調整額1,278,308千円は、各報告セグメントに配分していない全社負債であり、主に報告セグメントに帰属しない社債及び長期借入金1,166,111千円であります。

当事業年度(自 2023年3月1日 至 2024年2月29日)

(単位：千円)

	報告セグメント		調整額 (注) 1、2	合計
	バイク事業	フィットネス 事業		
売上高	4,970,768	441,229	—	5,411,998
セグメント利益	186,471	72,531	—	259,002
セグメント資産	809,439	123,626	1,712,912	2,645,979
セグメント負債	207,426	14,312	1,553,001	1,774,740
その他の項目				
減価償却費	27,639	10,430	—	38,069
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	12,160	—	—	12,160

- (注) 1 セグメント資産の調整額1,712,912千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であり、主に報告セグメントに帰属しない現金及び預金1,688,309千円であります。
- 2 セグメント負債の調整額1,553,001千円は、各報告セグメントに配分していない全社負債であり、主に報告セグメントに帰属しない社債及び長期借入金1,462,914千円であります。

## 【関連情報】

前事業年度(自 2022年3月1日 至 2023年2月28日)

## 1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

## 2. 地域ごとの情報

## (1) 売上高

本邦以外への外部顧客への売上がないため、記載を省略しております。

## (2) 有形固定資産

本邦以外に所在する有形固定資産がないため、記載を省略しております。

## 3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
株式会社ビーディーエス	3,484,065	バイク事業

当事業年度(自 2023年3月1日 至 2024年2月29日)

## 1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

## 2. 地域ごとの情報

## (1) 売上高

本邦以外への外部顧客への売上がないため、記載を省略しております。

## (2) 有形固定資産

本邦以外に所在する有形固定資産がないため、記載を省略しております。

## 3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
株式会社ビーディーエス	3,867,529	バイク事業

## 【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前事業年度(自 2022年3月1日 至 2023年2月28日)

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

当事業年度(自 2023年3月1日 至 2024年2月29日)

該当事項はありません。

## 【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前事業年度(自 2022年3月1日 至 2023年2月28日)

該当事項はありません。

当事業年度(自 2023年3月1日 至 2024年2月29日)

該当事項はありません。

## 【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

## (持分法損益等)

当社は関連会社を有しておりませんので、該当事項はありません。

## (1株当たり情報)

項目	前事業年度 (自 2022年3月1日 至 2023年2月28日)	当事業年度 (自 2023年3月1日 至 2024年2月29日)
1株当たり純資産額	396.79円	489.37円
1株当たり当期純利益	229.81円	92.46円
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	218.33円	87.23円

(注) 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前事業年度 (自 2022年3月1日 至 2023年2月28日)	当事業年度 (自 2023年3月1日 至 2024年2月29日)
1株当たり当期純利益		
当期純利益(千円)	408,219	164,411
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益(千円)	408,219	164,411
普通株式の期中平均株式数(株)	1,776,333	1,778,169
潜在株式調整後1株当たり当期純利益 金額		
当期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	93,424	106,597
(うち新株予約権(株))	(93,424)	(106,597)
希薄化効果を有しないため、潜在株式 調整後1株当たり当期純利益の算定に 含まれなかった潜在株式の概要	—	—

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。